

## 目で見る教育統計

中学校における進路指導の総合実態調査から

## (二) 學級擔任教員調查

一  
はじめに

前号では、「中学校における進路指導に関する総合的実態調査」のうち、学校調査について調査結果の概要を述べたが、今回は中学校第三学年を担任する教員を対象に、その学級における進路指導の実態を述べる。なお、調査の対象となつた公立中学校の第二学年の学級担任教員総数は九百六十九人である。

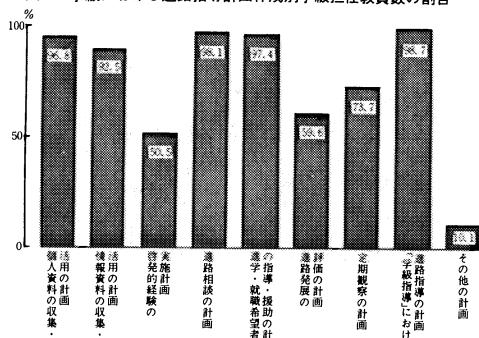
## 二、進路指導計画はどのように作成されるか

公立中学校第三学年の学級担任教員が作成した「学級における進路指導計画」をみると図-1のとおりである。

なお、この調査で進路指導計画とは、「その計画についての指導の目標・内

第三学年の学級担任教員が、担任す

図1 学級における進路指導計画作成別学級担任教員数の割合



る学級の進路指導を進めていくうえで、どのような事柄を重要視しているかをみると図-2のとおりである。学級の現状がどのようになっているかをみると図-3のとおりである。学級担任教員が、この調査で設定した八つの事項のうち、学級における進路指導を進めていくうえで、「特に重要な」と答えた事項をみると、「学級の進路指導計画は学校全体の進路指導計画に基づいて作成されたものである」と答えた教員が六〇・一%で最も多く、ついで「保護者は学級の進路指導について理解し、協力する」こと(五〇・九%)、「学級の進路指導計画を実施するための時間が確保されている」こと(四八・四%)、「生徒は自己理解に関する個人資料をよく利用している」こと(四二・八%)

「学級の進路指導計画は生徒が関心をもち、よりような具体的なものとなつてゐる」こと（四一・五%）となつてゐる。また、「生徒の進路に関する情報資料の利用」、「他教員の進路指導についての理解と協力」、「生徒の進路に関する副読本などの教材の利用」の事項については低くなっている。

次に、学級担任教員がその学級の進路指導の現状について「そのとおりである」と答えた事項の現状評価の割合についてみると、「学級の進路指導計画は学校全体の進路指導計画に基づいて作成されたものである」、「学級の進路指導計画を実施するための時間は確保されている」がそれぞれ八六・八%、八四・二%で多くなつており、逆に比較的少ない事項は「学級の進路指導計画は生徒が関心をもちやすいよう

四、進路指導のための検査・調査等の実施状況はどうなつてゐるか

学級担任教員がその学級の生徒に対して実施する進路指導のための検査や調査等の実施状況をみると図-4のとおりである。

なお、この調査では、「検査・調査